

サービス紹介②—トラベルヘルパー養成・派遣

株式会社SPI あ・える倶楽部
NPO法人日本トラベルヘルパー協会

東京都渋谷区道玄坂1丁目19番13号トップビル10F
☎03-6415-6480(あ・える倶楽部)
☎03-6415-6483(日本トラベルヘルパー協会)
http://www.aelclub.com・http://www.travelhelper.jp

外出に特化した
トラベルヘルパーを育成し
安全・快適な旅行を応援



！大雪で飛行機が欠航したにもかかわらず、お客様の希望とトラベルヘルパーの親身な対応で無事帰国へ

「外出したいけれど1人では不安」「付き添いを頼める人がいない」と、外出・旅行をあきらめてしまう高齢者は多い。また、人手が足りず外出イベントに踏み切れない介護事業者もいるだろう。株式会社SPI あ・える倶楽部では、外出時の介助に精通したトラベルヘルパーの派遣で、戸外での快適な時間を提供する。

約630人の登録ヘルパーが
外出先での安心を提供

当初は旅行人材派遣事業を行っていた株式会社SPIは、設立から4年後の1995年、バリアフリー旅行人材としてトラベルヘルパー(外出支援専門員)の育成を開始。次第にバリアフリー旅行事業にも着手し、98年、高齢者の旅行や生活を支援する目的で「あ・える倶楽部」を発足させた。現在は、ト

ラベルヘルパーの派遣や介護旅行サービスのほか、トラベルヘルパーの教育プログラム開発と事業者へのコンサルテーションも手がける。

また、2006年にはNPO法人日本トラベルヘルパー協会を設立。トラベルヘルパー育成事業を移管し、長年培った外出支援のノウハウを一般公開して資格取得を支援する。現在登録中のトラベルヘルパーは全国で約630人。登録者の約半数は各地域に散らばっ

ており、旅行や外出への同行、旅行先での介助要請に対応している。ヘルパー2級以上の資格者であることに加え、外出時の介助ノウハウを身に付けているため、外出先でも安心して介助を頼めるといってももちろん介護施設・事業所の旅行や外出行事にも活用できる。

「旅行に限らず、買い物や食事、習い事などにもトラベルヘルパーを活用してほしい。電車の乗り換えや街中の移動などが不安なお客様の外出の後押しができれば」と話すのは、同協会の篠塚基一理事長。2年前に創設したトラベルヘルパー資格の需要も伸びており、介護従事者や旅行関係者のほか、一般の人の申し込みも増えているという。

介護事業者への提案等を通じ
サービスの可能性を広げる

同協会では、障がい者支援団体や介護事業者への提案も行う。デイサービスでの「旅行教室」もその一つ。平均年齢81歳の利用者や地域の高齢者が計画段階から参加し、下調べや旅程づくりを行って旅行を実施するプログラムで、普段とは違う刺激を得ることで、認知症の予防効果も期待されている。

また現在、近年注目されている「リハビリ特化型デイサービス」からの旅行依頼を受けているという。「スバリソートで水中リハビリ」「身体能力に応じた山登り」など、旅行先でも特色を活かした提案を行っているそうだ。

ただ、施設・事業所の旅行イベントは通常年1〜2回程度であると篠塚氏は指摘。「体調を崩しやすい高齢者が、1度旅行の時期を逃すと次はいつ行けるかわからない。いつでも気軽に出かけられる環境を整えたい」と言う篠塚氏は現在、練馬区の協力を得て試験的に「地域巡回型日帰り温泉バス」の試みを実施している。練馬区を4つの地域に分けて曜日ごとに旅行を計画し、介助が必要な高齢者の参加を募るといふもので、10人が揃った段階で出発できる。トラベルヘルパーが同行し、参加者の玄関前まで迎えに来てくれるので、外出が不安な高齢者も出かけやすい。「今は募集段階だが、周知を続ければニーズはある。閉じこもりがちの高齢者はもちろん、介護施設からの参加も歓迎」という篠塚氏。旅行が高齢者のスタンダードになる日も遠くないかもしれない。